

令和元年度

相談支援・就業支援セミナー

テーマ

想いを叶えるために

～本人の意思の尊重と相談支援の役割～

平成29年3月31日の厚生労働省社会・援護局障害福祉部長通知において「意思決定支援ガイドライン」が示されました。日常生活や社会生活等において障害者の意思が適切に反映された生活が送れるよう、利用者に寄り添い、伴走しながら本人の意思の確認や意思及び選好を推定し、可能な限り本人が自ら意思決定できるよう質の向上に努めていかなければなりません。

本人の想いを叶えるために、利用者の意思を尊重し実行するまでのプロセスは個別性が高く、支援方法も多様です。意思決定支援は、単に決定を促がしたり本人が決めたことを鵜呑みにするものではなく、本人の意思を尊重し実現するための実践過程であり、意思形成支援、意思表出支援を含めたものであることを、日本知的障害者福祉協会において整理しました。障害のある方が真に自らの意思に沿った選好や選択を行うには、多くのサポートを受け見守られる中で、失敗や成功をくり返しながら経験を積んでいくことが必要であり、日々の積み重ねが重要となります。

本セミナーでは、意思決定支援の重要性と相談支援の役割についての理解を深めることで、相談支援や就業支援の様々な場面等において利用者の意思が尊重された支援が行われることを期待します。

なお、2日目は、「意思決定支援を支える相談支援専門員とサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の連携・連動」、「地域における就労支援ネットワークと多様な働き方への対応」、「多様なニーズに応えるための重層的な相談支援体制の構築と地域づくり」と3つの分科会に分かれ、より理解を深めます。

障害のある方が真に希望する人生を選択できるよう、より良い支援の提供に向けて、一人でも多くの方々のご参加をお待ちしています。

日時	令和元年10月15日(火)・16日(水)
会場	新横浜国際ホテル (横浜市港北区新横浜3-18-1)
主催	公益財団法人 日本知的障害者福祉協会 相談支援部会
対象	障害児・者の相談支援・就業支援に携わる関係職員等
定員	400名
参加費	セミナー 12,000円(会員) 15,000円(一般) / 交流会 7,000円(任意参加)

日程

●第1日目【10月15日(火)】

12:30	13:00	13:10	14:15	15:20	15:40	17:30	18:00	19:30
受付	開会式	講演 I	講演 II	休憩	シンポジウム	移動	交流会	

●第2日目【10月16日(水)】

9:00 12:00

- 第1分科会：意思決定支援を支える相談支援専門員とサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の連携・連動
- 第2分科会：地域における就労支援ネットワークと多様な働き方への対応
- 第3分科会：多様なニーズに応えるための重層的な相談支援体制の構築と地域づくり

I 講演 I

13:10～14:15

障害者雇用の新たな展開を目指して
～多様な働き方への対応と地域との連携～ (仮題)

和田 一紀氏 (株式会社 エスプールプラス社長)

昭和50年、大阪府生まれ。平成8年に株式会社リクルート(現・株式会社リクルートホールディングス)入社。平成18年に米国のフリーペーパー企業へ副社長として経営参画。その後「障がい者雇用×農業」に社会的意義を感じ、平成23年の株式会社エスプールプラス創業期より参画。

II 講演 II

14:15～15:20

精神科ドクターが福祉を語る
～地域を観る 人を診る ところを見る～

土田正一郎氏 (倶知安厚生病院 精神神経科 医師)

山口県山口市出身。山口大学医学部医学科を卒業。その後、東札幌病院、北海道大学病院を経て、現在の倶知安厚生病院に勤務。日本精神神経学会精神科専門医・指導医、日本医師会認定産業医、精神保健指定医の資格を持つ。専門領域は地域精神医学(農村型)。趣味は詩作・ジョギング・ラジオ出演。

III シンポジウム

15:40～17:30

本人の思いを叶えるために～より豊かな人生の創造と意思決定支援～

すべての人間にとって、人生は一度きりです。そしてその人生はあくまで「本人自身のもの」です。従って支援の基本は、まず本人の意見を聞き、本人を励まし、どうしたら本人の望む人生を実現していけるかという、「本人の意思の尊重と自己決定」を基本とした創造的なものでなければなりません。

しかし知的障害のある人たちの多くは、自らの意思を表現することが苦手な人々です。このため周囲の人たちの意識の中に、「どうせ分からないのだから、聞いても無駄」といった雰囲気があり、日々の暮らしや、どこで誰と生活するかなどの重要なことすらについても、常に家族や支援者の意見が優先して、結果的に見て、本人の生きる意欲や力をそいでしまっているという、「ディスエンパワメント」の関わり方が多くみられます。

意思決定支援を通して、「利用者本人と支援者の関係性の変容」について迫ります。

シンポジスト： 井上 博氏 (日本知的障害者福祉協会 会長)

北川 聡子氏 (日本知的障害者福祉協会 児童発達支援部会 部会長)

小林 繁市氏 (日本知的障害者福祉協会 相談支援部会 部会長)

助言者： 土田正一郎氏 (倶知安厚生病院 精神神経科 医師)

司会： 富岡 貴生氏 (日本知的障害者福祉協会 相談支援部会 副部会長)

交流会 (任意参加)

18:00～

第1分科会

意思決定支援を支える相談支援専門員とサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の連携・連動

相談支援において大切なことは、利用者が必要な時に相談を受け、必要なサービスへつなぐことと、利用者の意思決定支援です。幼少期から学齢期は相談支援専門員と児童発達支援管理責任者、成人期では相談支援専門員とサービス管理責任者が計画の作成を通して利用者の意思決定を支え、必要なサービスを提供しますが、その際には利用者、事業者との緊密な関係が求められます。

第1分科会では、基調講演で相談支援専門員、サービス管理責任者、児童発達支援管理責任者に求められる資質と、それぞれの連携の必要性について学び、シンポジウムでは利用者の意思決定支援にどのようにかわり、地域移行等を含めたサービス提供時にどのような連携をとるべきかを主に成人と児童を対象に相談支援を行っている2名の相談支援専門員とサービス管理責任者の実践発表から考えます。

開 会 9:00

基調講演 9:00～10:00

「相談支援専門員、サービス管理責任者、児童発達支援管理責任者の役割
～意思決定支援に必要な技術と風土作り～」

講 師：富岡 貴生氏 (日本知的障害者福祉協会 相談支援部会副会長)

シンポジウム 10:10～12:00

「意思決定支援を支える相談支援専門員とサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の連携・連動」

シンポジスト： 永野 祐司氏 (社会福祉法人かながわ共同会 愛名やまゆり園 地域支援部長)

石本 伸也氏 (社会福祉法人もえぎの会 もえぎの里 管理者)

金丸 博一氏 (社会福祉法人柏学園 柏学園相談支援事業所 相談支援専門員/日本相談支援専門員協会 副代表)

助言者： 富岡 貴生氏 (日本知的障害者福祉協会 相談支援部会副会長)

コーディネーター： 戸田 健一氏 (NPO法人たねっと 障がい者相談支援センター夢民 地域づくりコーディネーター/相談支援部会委員)

第2分科会

地域における就労支援ネットワークと多様な働き方への対応

本人の希望する就労を実現するためには、多様な働き方の選択肢が用意されていることと、それらをつなぐ地域の就労支援ネットワークが必要になります。そして、事業主や支援者が先入観にとらわれず、「できない」と決めつけずに「どうしたらできるか」「そのために何をすればいいか」、考え方を転換することが大切です。

この分科会では、地域に根ざした実践をしている事業主の講演と、地域において障害者雇用の中心となって活躍している3名の方の実践から、多様な働き方と就労支援ネットワークについて議論を深め、今後の就労支援のあり方について検討します。

開 会 9:00

基調講演 9:00～10:00

「農福連携による障害者就労 ～ユニバーサル農園を目指して～」

講 師：鈴木 厚志氏 (京丸園株式会社 代表取締役)

シンポジウム 10:10～12:00

「地域における就労支援ネットワークと多様な働き方への対応」

シンポジスト： 植村久美子氏 (社会福祉法人恵愛福祉事業団
障害者就業・生活支援センター共生 主任就業支援担当者)

山口 理貴氏 (一般社団法人Brigde 代表理事)

鈴木 厚志氏 (京丸園株式会社 代表取締役)

コーディネーター： 中村 文久氏 (社会福祉法人明光会
障害者就業・生活支援センターさつき 所長/相談支援部会委員)

第3分科会

多様なニーズに応えるための重層的な相談支援体制の構築と地域づくり

誰もが地域で安心して暮らせる街づくりを目指すためには、計画相談支援・委託相談支援・基幹相談支援センターがバランスよく、それぞれの役目を果たした重層的な相談支援体制、いわゆる三層構造が望ましいとされています。

障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、相談、緊急時の受け入れ・対応等の必要な機能を備えた「地域生活支援拠点等」についても令和2年度までにその整備を進めることとなっており、それらを話し合う協議会（自立支援協議会）の重要性はさらに高まってきています。そして、その中心となる基幹相談支援センターの設置促進等、地域における相談支援の機能強化と基盤整備を図ることが急務です。そのためには、協議会（自立支援協議会）を活用した安心できる街づくりや地域生活支援拠点等の今後の広がり、基幹相談支援センターと指定特定相談支援事業所の役割について改めて考える必要があります。

計画相談支援・委託相談支援・基幹相談支援センターがそれぞれの立場で多様なニーズに応える地域づくりを推進するために、その果たすべき役割について一緒に考えていきましょう。

開 会 9:00

行政説明 9:00～10:00

「安心できる地域生活基盤の構築

～基幹相談支援センター、地域生活支援拠点、

協議会（自立支援協議会）等の整備と相談支援の果たすべき役割～」

講 師：藤川 雄一氏（厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課 相談支援専門官）

シンポジウム 10:10～12:00

「多様なニーズに応えるための重層的な相談支援体制の構築と地域づくり」

シンポジスト： 大槻 美香氏（社会福祉法人北海道社会福祉事業団 伊達市障がい者総合相談支援センターあい 室長）

一丸 善樹氏（社会福祉法人三矢会 太田川学園障害者相談支援事業所リガーレ 所長兼相談支援専門員／相談支援部会委員）

千代丸智也氏（社会福祉法人十百千会 宇城圏域障がい者基幹相談支援センターきょうせい センター長兼相談員）

助言者： 藤川 雄一氏（厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課 相談支援専門官）

コーディネーター： 藤本 篤氏（社会福祉法人宗友福祉会 松山市障がい者南部地域相談支援センターセンター長／相談支援部会委員）

大会内容に関するお問い合わせ先

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会 相談支援・就業支援セミナー 係（古屋・三浦）

〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-19 KDX浜松町ビル6階

TEL 03-3438-0466 FAX 03-3431-1803

お申込みに関するお問い合わせ先

名鉄観光サービス株式会社 MICEセンター（下枝・柴田・濱田）

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル ロビー階

TEL 03-3595-1121 FAX 03-3595-1119